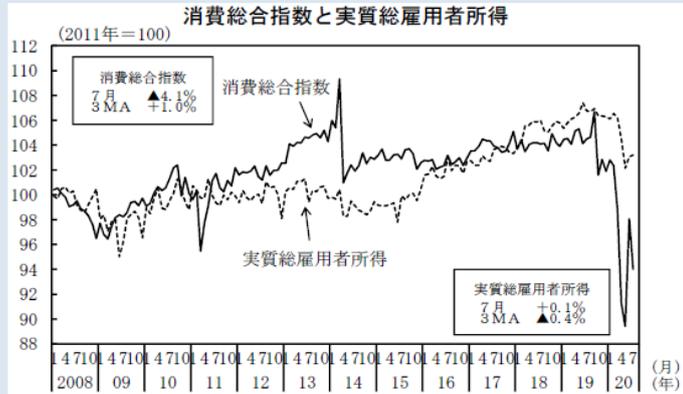


月例経済報告（2020年9月）

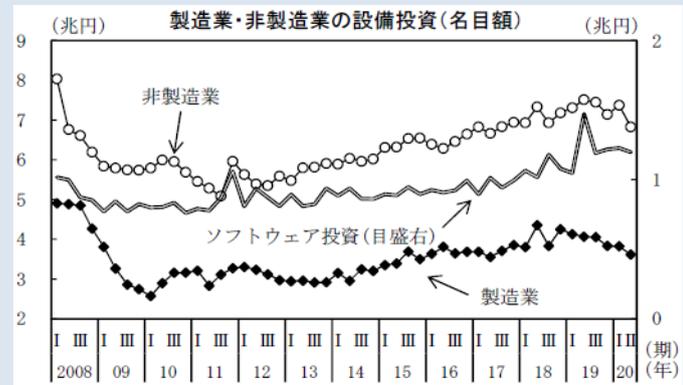
● 月例経済報告（9/24）

基調判断	(9月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。 感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。
	(8月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。 感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、感染症が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動に十分留意する必要がある。

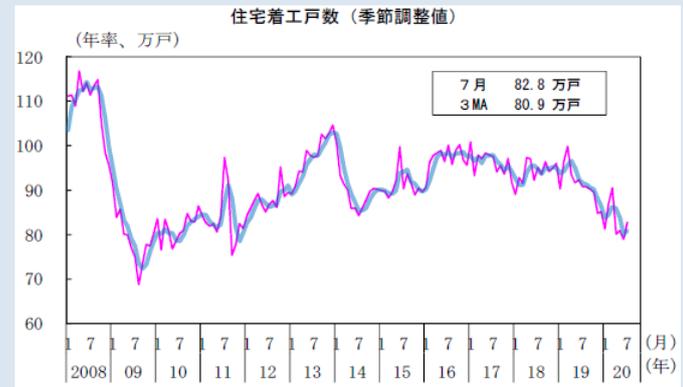
個人消費	(9月) <u>一部に足踏みもみられるが、持ち直している。</u>
	(8月) このところ持ち直している。



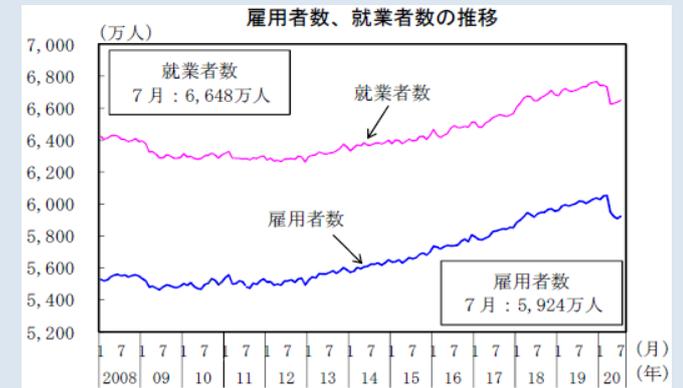
設備投資	(9月) <u>弱い動きとなっている。</u>
	(8月) 弱含んでいる。



住宅建設	(9月) 弱含んでいる。
	(8月) 弱含んでいる。



雇用情勢	(9月) 感染症の影響により、 <u>弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。</u>
	(8月) 感染症の影響により、弱い動きとなっている。



生産	(9月) 持ち直しの動きがみられる。	<p>鉛工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移 (2015年=100)</p> <p>このグラフは、2009年4月から2020年8月までの鉛工業の生産、出荷、在庫、および在庫率の推移を示しています。左側の縦軸は生産と出荷（目盛右）を、右側の縦軸は在庫と在庫率（目盛右）を示しています。在庫率は2019年10月に急激に上昇し、2020年8月の予測調査でも高水準を維持しています。</p>																								
	(8月) 一部に持ち直しの動きがみられる。																									
輸出	(9月) 持ち直している。	<p>地域別輸出入数量指数 ①輸出 (2015年=100)</p> <p>このグラフは、2008年4月から2020年8月までの地域別輸出数量指数を示しています。全体、アジア、EU、アメリカの4つの地域を比較しています。アジアは最大の輸出先で、2020年8月の伸び率は+8.2%です。</p> <table border="1"> <tr> <td>全体</td> <td>8月</td> <td>+10.5%</td> </tr> <tr> <td>3MA</td> <td></td> <td>+7.2%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>8月</td> <td>+8.2%</td> </tr> <tr> <td>3MA</td> <td></td> <td>+3.7%</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>8月</td> <td>+4.4%</td> </tr> <tr> <td>3MA</td> <td></td> <td>+16.1%</td> </tr> <tr> <td>EU</td> <td>8月</td> <td>+15.7%</td> </tr> <tr> <td>3MA</td> <td></td> <td>+4.7%</td> </tr> </table>	全体	8月	+10.5%	3MA		+7.2%	アジア	8月	+8.2%	3MA		+3.7%	アメリカ	8月	+4.4%	3MA		+16.1%	EU	8月	+15.7%	3MA		+4.7%
全体	8月	+10.5%																								
3MA		+7.2%																								
アジア	8月	+8.2%																								
3MA		+3.7%																								
アメリカ	8月	+4.4%																								
3MA		+16.1%																								
EU	8月	+15.7%																								
3MA		+4.7%																								
	(8月) 持ち直しの動きがみられる。																									
国内企業物価	(9月) このところ緩やかに上昇している。	<p>企業物価の推移 (2015年=100)</p> <p>このグラフは、2008年4月から2020年8月までの輸入物価、輸出物価、国内企業物価の推移を示しています。国内企業物価は2020年8月に緩やかに上昇しています。</p>																								
	(8月) このところ緩やかに上昇している。																									
消費者物価	(9月) 横ばいとなっている。	<p>消費者物価の推移 (2015年=100)</p> <p>このグラフは、2010年4月から2020年8月までの消費者物価の推移を示しています。生鮮食品及びエネルギーを除く総合物価は横ばい傾向にあります。</p>																								
	(8月) 横ばいとなっている。																									
海外経済	(9月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。先行きについては、経済活動の再開が段階的に進められるなかで、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症の拡大によるリスクに十分留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。																									
	(8月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。先行きについては、経済活動の再開が段階的に進められるなかで、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症の拡大によるリスクに十分留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。																									

月例経済報告：内閣府